

インターンシップ

山口県立山口農業高等学校
環境科学科・参加生徒27名(うち先生1名)

伊藤 秀弥・(株)中技研コンサルタンツ

1日目は阿東へ行き、阿武川で起こった災害関連の仕事をしました。実際に森の中などに入って既存の基準点の写真を撮り、測量機を使用して正確な地形等の観測をしました。森の中にも基準点があるとは知りませんでした。

2日目は、境界測量、復元測量、用地幅杭点間測量を体験しました。この3つの測量は初めてだったので最初はあまりよくわかりませんでした。いろいろ説明してもらい、何回もやってみるうちに、なぜこの測量をやっているのかもわかるようになってきました。

3日目は、実際に現場へ基準点を作成しました。実際に基準点をトンカチで叩いて土の中に埋めたり地面にドリルで穴をあけたりしてとても大変でしたが、教えてもらいながら自分の仕事をきちんとできたと感じます。基準点を作成するだけでもこれほど大変なんだと知ることができました。

4日目は、前の日に打った基準点から基準測量をしました。また2日目に行った場所で、土地の所有者の方と確認作業をしました。



山口県立田布施農工高等学校
環境土木科・参加生徒24名

金子 翔・洋林建設(株)

私にとって今回の現場実習は、とても多くのことを学ばせて頂きました。1日目の午前中は、総務課課長の清水さんにマナーや言葉使いについての学習をさせていただきました。全てにおいて社会人として生活するうえで、大切なことだと感じたのでとても参考になりました。また、安全部長の方には、現場での注意事項や危険な行為、近づいてはいけない場所などを詳しく教えていただき、建設現場で注意することを再確認することが出来ました。

午後の現場見学では、GPSを使用して制御する最新のバックホウや法面現場等を間近で見、その後は、施工管理の仕事を見学しましたが、最初は施工管理と聞いて何をするか全く想像することが出来ませんでした。現場での作業を見ていくにつれて、工事の過程を現場の方と確認し進めて、完成までの工期と安全を重視するとても重要な仕事だと感じました。



した。二時間以上かかり、土地問題は大事なことだと思いました。

今回、(株)中技研コンサルタンツで仕事を勉強することができ、とてもいい体験をすることができました。学校ではやっていない測量も教えてもらったり、測量の意味についても考えることができました。

益田 悠大・山陽建設工業(株)

初めて本当の仕事というのを間近で見ると、大変だけど、それ以上にやりがいがあり、人の役に立つ最高の仕事だと思いました。中でも実際に出来た現場で構造物を見て行くうちに、僕も現場監督になり、現場を動かして施工していきたくなりました。

山陽建設工業(株)の方だけでなく他社の方にも話を聞くことができ、土木業界についての話だけでなく、進路の決め方や、過去の現場で働いている方たちの話はとてもタメになり、これからの進路や、人生設計に役立つと思います。どの方もみんな今の土木、建設業界に若い人、後継者が少ないと言っていました。だから僕はその一人になれるようにこれから頑張りたいです。

私たちの今の不自由のない生活は、土木なしでは絶対に成り立っていないし、全てにおいて土木が関わっていると思います。そんな責任ある仕事は、僕はやっていけないのだからと不安にもなりますが、この高校生活の中で出来るだけ多くの資格をとって、もっと土木について知らないといけないと思います。

このインターンシップで少しだけ

2日目は、原さんと森重さんに案内されながら、様々な作業を見学することが出来ました。午後はレベルを使用し、据え付けや視準を行いました。担当の森重さんとは、作業を通しながら、様々なお話をし、学生生活のうえで大変なことになることを教えていただきました。

今回の現場実習で、たったの2日間でしたが、社会の厳しさや人との関わり方などの多くのことを学ぶことが出来ました。

熊野 勇輝・(株)ソイル・プレイン

1日目は、ミニラムという小型機械を使用して、何10m下の土の硬さ、強度を調査しました。ミニラムというのは、30kgのハンマーを35cmから落とすことで一定のエネルギーを地面に与え続けることができる動的貫入試験器で、大きい現場だとボーリングという大型機械で調査するそうです。4か所を調査するのに1日かけて作業を行い、初めてで疲れてしまいましたが、良い体験ができました。

2日目は、周南市にある東ソーの現場で、エコプローブという大型機械を使用し、地面の中の土壌汚染物質を調査する見学をしました。東ソーの周辺には海があり、埋め立て地のため、東ソーの地下からは掘れば掘るほど海水が出てきて少し作業しにくい現場でした。土壌汚染物質というのは、私たちが知っているの例える「水銀」など



土木関係の仕事に就きたいです。

藤津 葵・(株)アサヒコンサル

4日間のインターンシップを通じて、初めて「仕事」として「働く」というとても貴重な時間を過ごさせていただきました。

1日目の現場実習では、水津さんのもので動かしていただくことになり、その日は「地籍調査の準備作業」をさせていただきました。社員の方が作った地図番号・種類・家屋番号・所有者名を確認する作業でした。目を皿のようにして、地籍調査表を確認するのはとても大変でした。その後、午前午後として分けられている土地が、ちゃんと合っているかの実施区域日割図の確認を行いました。先日広島で発生した土砂災害でも、この確認を行っていたので、広島でも活用されているのだなと思いました。今でも復旧作業が行われていますが、1日でも早く、安心して暮らせる日々が送

で、国からの法律で土壌汚染物質が出てはいけないと言われています。ですから、大事な検査であり危険と隣り合わせの調査でした。実際、出てきた土を見てみると「砂」「れき」「粘土」「水」等がたくさん地面から上がってきて日頃、目には見えない調査を見ることができました。

この2日間、現場で体験し、少しですが土木建設業がどんなものなのか理解できたように思います。

森田 将史・(有)泉土木コンサルタンツ

1日目は、光市内県道の歩道新設工事に伴う測量を行いました。トータルステーションを使いピンポイントに付いてある反射プリズムにレーザーを当てて反射させることによりピンポイントから視準点の距離、高さを素早く測ることができると、私が学校で使用しているセオドライトは、比べものにならないくらいスピード感あふれる測量でした。現場では交通量が多くグラウンドですが、測量を行ったことがない私にはどのような測量を行えばいいかわかりませんが、据え付け、視準などの私ができる範囲で出来る事を行えたのではないかと思います。

2日目は、技術部、技術課の伊村繁雄さんから、近年の土木事情、社会の厳しさ、高校生活の大切さ等の将来に不安を持つ私にとってとてもためになるお話をお聞きしました。

午後からは、私は「技術力をあげるには」というテーマで小論文を書きました。これは、私の国語力を図る伊村さんの狙いだったので、訂正などの指導があり、私の国語力の無さに正直がっかりしました。ですが、伊村さんの解り易く的確な指導の下、以前よりは私の国語力はついたのではないかと思います。



2014年度インターンシップ実施企業33社(参加生徒数 50名うち先生1名)

- 田布施農工高等学校 環境土木科**
- 井森工業(株)
 - 末長建設工業(株)
 - (株)浜田組
 - (株)仲合
 - トオル電気(株)
 - 好村建設(株)
 - 時盛建設(株)
 - 文本工業(株)
 - 洋林建設(株)
 - 共同産業(株)
 - 村上建設工業(株)
 - キハラ建設(株)
 - 勝井建設(株)
 - (株)森野組
 - (有)泉土木コンサルタンツ
 - (株)ソイル・プレイン
 - (株)異設計コンサルタンツ
- 山口農業高等学校 環境科学科**
- 石山建設(株)
 - 山口建設(株)
 - (株)技工団
 - シマダ(株)
 - (株)宗像建設
 - 防長建設工業(株)
 - (株)長田組
 - サン・ロード(株)
 - 池田建設工業(株)
 - 成長建設(株)
 - 山陽建設工業(株)
 - (株)中技研コンサルタンツ
 - (株)アサヒコンサル
 - (株)リクチコンサルタンツ
 - (株)山口建設コンサルタンツ
 - (株)三連調査設計

※岩国工業高校は2015年2月に実施する予定です。